

環境に関わる責任

生物多様性の保全

基本的な方針

📖 →P71 日本製紙グループ環境憲章

📖 →P72 生物多様性保全に関する基本方針

推進体制

「環境経営」の推進体制 →PO6をご参照ください。

目標と実績

取り組むテーマ	目標	2025年度の主な実績
グリーン戦略	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・TNFD開示に対応した影響評価を実施 ・自然共生サイトである鳳凰社有林における協業について山梨県韮崎市およびリンテック株式会社と協定を締結

取り組み

バリューチェーンにおける生物多様性保全

- 当社グループは、原燃料の調達から紙などの製造工程、排水処理やGHG排出抑制などバリューチェーン全体において、生物多様性に与える影響の低減に努めています。
- 当社グループ製品の原材料である木質資源は、適切に管理された森林から持続可能な形で調達しています。

森林経営における生物多様性保全

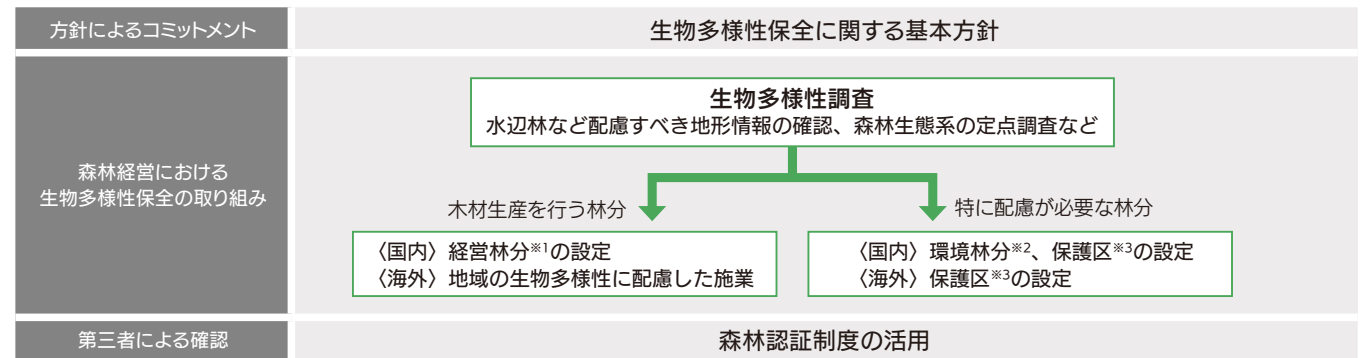
①森林経営における生物多様性保全の取り組み

- 当社グループは、国内外の自社林において持続可能な森林経営を行っています。
- 国内外の自社林において、「生物多様性保全に関する基本方針」に基づき、生物多様性調査を実施しています。
- 既存の事業においては、水辺林など配慮すべき地形情報の確認や、森林生態系の定点調査などを実施しています。
- 生物多様性調査の結果をもとに、特に配慮が必要な地域では、伐採を行わない環境林分や保護区・保護林を設定しています。
- 木材生産を行う経営林分では、伐採場所や時期を配慮したり、地域の生物多様性に配慮した施策を実施したりすることで、森林を適切に管理しています。

②第三者による確認

- 森林認証制度を活用することで、第三者により生物多様性に配慮した森林経営が実施されていることを確認しています。
- 当社および海外植林子会社の管理する全ての社有林で森林認証を取得しています。

森林経営における生物多様性保全の取り組み



※1 持続可能な木材生産目的にかなう施策を行う林分 ※2 木材生産目的の保育・主伐は行わない林分 ※3 生物多様性保全のため伐採および施策を制限している林分

生物多様性の保全に関する事例とTNFDに基づく情報開示

詳細は自然資本統合レポートをご覧ください。

🖨️ →WEB 自然関連への取り組み(日本製紙グループ自然資本統合レポート2026 P.32-51)
https://www.nipponpapergroup.com/csr/npgr/Ncr2026_32-51.pdf